



市長随筆



棚底城跡国指定史跡へ

国道266号を栖本方面から走り、倉岳小学校に通じる倉岳町棚底の交差点を少し過ぎると、左手に天草一の標高を誇る倉岳から伸びた尾根の丘陵地が見えてきます。戦国時代、上島に勢力を持っていた栖本氏と上津浦氏が領有をめぐって何度も争った棚底城の城跡がそこにあります。

城跡からは2千点以上の遺物が出土していますが、その中には、中国やベトナムのものも多く含まれています。はるか昔に、朝鮮半島や東アジアとの交易が行われていたのかと思うと、ロマンをかきたてられます。

城跡から望む景色は、眼下に防風のための石垣に囲まれた棚底の田園風景が広がり、その先には御所浦の島々が美しく並び、心が癒される思いがします。けれども、戦国時代には、この素晴らしい景色も戦略という目で眺められていたのかもしれませんが。

この棚底城跡が、天草市としては初となる国史跡の指定を受ける運びとなりました。この貴重な歴史遺産を護り後世に伝えるとともに、棚底の石垣群を含めた文化的景観の調査を進め、地域振興にもつなげていきたいと思っています。

天草市長 安田 公寛



若っ喝采

吉鶴 藍さん (倉岳町宮田・21歳)

保育士になって2年目。大好きな子どもたちの笑顔を見ながら楽しく仕事をしています。今は友だちと遊ぶことが一番の楽しみ。ゴールデンウィークには久しぶりに長い休みが取れたので、短大の友だちと旅行に行きました。これからも両親に心配かけない程度に友だちと遊んで、仕事もがんばりたいです。



宝島の健康 よろず屋

森 幸子さん (有明町須子・84歳)

毎日の楽しみは？ いきいきサロンやさわか大学、グラウンドゴルフなどの練習に参加して、友だちとおしゃべりするのがとても楽しみです。漬け物の漬け方やおかずの調理方法など、年はとっていても自分より年下の人から教わる事が多く、とてもためになる話が多いんですよ。

健康の秘訣は？

家に閉じこもらず、出歩くように心がけています。また、毎晩薬用酒を飲んで寝ることも、健康にいいのかもしれない。



よもぎ団子を作る園児たち

のびのびとした心豊かな子どもに

宮地岳保育園 (宮地岳町)

宮地岳保育園(野嶋岩雄園長・全園児48人)は、宮地岳以外に河浦、本渡方面から園のバスで子どもたちが登園。自然豊かな環境の中で、のびのびとした心豊かな子どもの育成に努めています。本園では、園庭の畑で野菜を作り、その野菜を給食で使っているので食べ残しも少なくなりました。よもぎをつんで団子にしたり、梅干し、カレー作りも行っています。また、年長児が和太鼓に取り組み、町のイベントや施設訪問などで発表し、子どもたちの自信や思いやりの心につながっています。家庭では、親子の絵本の読み聞かせをお願いしており、毎日欠かさず読んでもらっている子どももいて、絵本大好きな子どもが育っています。

地域とともに育む保育園

五和さざなみ保育園 (五和町)

五和さざなみ保育園(梅本幸子園長・全園児47人)は、目の前に広がる青い海や豊かな自然、たくさんさんの絵本に囲まれ、子どもたちにとって最適な環境に恵まれた「いい遊び場」です。「清く、正しく、温かく」を方針に、元気な体、やさしい心を育むことを願っています。



のびのびとーまね

て一日一日を大切に保育に取り組んでいます。月に一度、老人ホームのおいちゃんやおばあちゃんとの交流会を行ったりして、地域との交流を深めています。昨年から、スイミングやお寺参りにも参加しています。園では、幼いころからの体験の積み重ねを通して、「健康やかで、たくましい子ども」に育てて欲しいと願っています。



広がる海を目の前に大きく成長する園児たち



人吉お城祭りに参加したときのようす

牛深の伝統を守る

牛深高校 (牛深町)

3年 榎田 眞弓

牛深高校郷土芸能部は部員23人で活動し、牛深の伝統芸能である牛深ハイヤを全国各地に広めるため、日々練習に励んでいます。昨年は中国の上海や茨城県で行われた日立祭で踊りを披露することができ、多くの方々からお褒めの言葉をいただくことができました。今年度は、新入部員が13人も入部し、ますます練習に熱が入っています。5月28日から行われる、県高校総合文化祭に出場が決定しています。この舞台は、3学年合同では初めての披露となるので、いいスタートが切れるように一生懸命がんばりたいと思います。これからも部員全員が一丸となって活動に取り組んでいきますので、応援をよろしくをお願いします。

ぼくのわたしの学校生活 自慢

心やさしくみんなが元気 全力つくす鳥子っ子!

鳥子小学校 (有明町) 6年 丸林 美里

鳥子小学校(森田信行校長・全校児童74人)では、毎年児童会のスローガンを決め、全校をあげてその達成に向けてがんばっています。今年のスローガンは「心やさしく、みんなが元気、全力つくす、鳥子っ子!」です。鳥子小の自慢は、まず元気のよいあいさ

つです。児童会を中心にあいさつ運動に取り組み、地域の方からも喜ばれています。次に朝のボランティア活動です。1年生から6年生まで自分のできる「ちょボラ」に取り組んでいます。だから、朝から学校中がきれいです。また、いろんな行事や大会に向けて全校児童が真剣に臨み、成果を上げているのも特長です。おかげで、昨年はたくさんの方の表彰状をいただきました。



「ちょボラ」で校庭の草引きをする児童